

ソーシャルビジネスと農村開発を学ぶ 2017年 国際協力塾合宿 in フィリピン 10日間



3名限定!
※他プログラム
合計6名

合宿の目的

- ✓ 開発プロジェクトとソーシャルビジネスの現場に入る機会を提供します
- ✓ 国際協力・ソーシャルビジネス・農村開発・環境に関する知見を深め、開発の現場を見る眼を養います
- ✓ 英語での現地調査や討論を通じて、将来のグローバルリーダーの育成を目指します

今年の夏休みは 国際協力の現場に挑戦!

- 外務省の支援による零細稲作農民の営農改善を通じた生計向上支援と日本国際協力財団の支援による小規模農民への農業機械のマイクロ・レンタル事業やプロジェクトを通じて立ち上げられた現地のソーシャルビジネスの現場を訪問します。
- グループに分かれテーマを決めた後、調査計画を作成して現場に入り込み調査を行います。調査結果は最終日に発表します。
- 大使館・JICAを訪問し事前に知識を深めた上で現場に向かい、報告会後はお別れパーティーで現地の人々との親睦を深めます。

日程: 8月13日(日)~8月22日(火)

集合場所: 現地(マニラ)集合・現地解散

費用: 9万9千円/1人(賛助会員費含む)

※集合場所までの旅費や旅行者保険料、一部食費等は参加者の負担となります。

日程表

1	マニラで集合、顔合わせ
2	JICA事務所訪問、ヌエバ・ビスカヤに移動
3	オリエンテーション(現地スタッフによる説明)
4	営農改善プロジェクト見学・インタビュー調査
5	農機レンタル事業体験・インタビュー調査
6	有機野菜生産農家訪問・インタビュー調査
7	ヌエバ・ビスカヤ州名所巡り
8	プレゼンテーション作成作業
9	成果発表会、現地関係者とお別れパーティー
10	マニラへ移動、解散(同日午後の便に搭乗可能)

※参加者の人数により実施しない場合もあります。
※旅程は現地の都合により予告なく変更されることがあります。

「当たり前」が当たり前ではないことを忘れてはいけない。
(2015年参加者 高野茜さん 10代学生)

私は、合宿を通じて数え切れないほど多くの事を学びました。特に、フィリピンと日本の間にある悲しい歴史や、何かの犠牲の上に豊かな生活が成り立っていること、仕事の仕方などに関する様々なカルチャーショックは私の中に深く刻まれました。合宿で得たこうした経験を通じて、普段「当たり前」だと思っていることが当たり前ではないということを感じました。



申込期限: 2017年7月21日(金)

特定非営利活動法人ジーエルエム・インスティテュート

ジーエルエム・インスティテュートは、国際協力の現場で活躍する実務者や、それを目指す大学生や若手社会人に対し「国際協力塾」として様々な「場」や機会を提供し、人材育成に資することを目的としています。



1日目 集合・顔合わせ

顔合わせでは、自己紹介やディスカッション、テーマ決めを行います。2日目は8時間の移動(!)の後、オリエンテーションを行います。



まずは仲間を知りディスカッション

2日目 JICA訪問

外交の観点やキャリアなどの貴重な話が聞けます。



将来のことをもっと真剣に考える

3~6日目

8時間(!)かけてヌエバ・ビスカヤ州へ移動した後、4日目ついに現場へ! 農機レンタルを担う現地NGOでオペレーションを体験し、農家やオペレーターにインタビューを行います。



問題意識を持って聞き取り調査にトライ! 稲作農家の大変さも学びます!

7日目 名所巡り

7日目は少し息抜き。地域内の名所を訪れます。前回にはなかった活動です!



プロジェクト現場に入り込み調査

営農改善のプロジェクトや有機野菜の生産・販売を担う現地NGOの活動に入り込み、国際協力の現場を体験。



じっくり農家にインタビュー

8~10日目 報告会・お別れパーティー・解散

グループ・個人で急いで発表内容のまとめ。



どうすれば考えが伝わるか...

ついに、現地の人々の前で成果を発表! 緊張しますが、自信を持って披露してください。その後は、お別れパーティーで交流を深めましょう!



別れが切なくなる時間...最後は笑顔でありがとう!

お申込方法

Web申込みフォームからお申込みください。フォームのURL、お問い合わせ先のメールアドレス、電話番号及びFAX番号は以下のとおりです。

- お申込み: <https://goo.gl/forms/bdcUoXBLKWwFXkhr2>
- Eメール: info@glminstitute.org
- FAX: 03-5766-1451
- TEL: 03-5766-1466 (担当者: 山元)